

令和4年度事業報告

I 会員数の推移

	正 会 員	賛助会員	合 計	備 考
期 首	100社	1社	101社	
期中入会	—	—	—	
期中退会	1社	—	1社	(株)早電舎様
期 末	99社	1社	100社	

II 事業内容

1 表彰に関する事業

(1) (一社) 山形県消防設備協会会長表彰の実施

表彰式：令和4年11月11日（金） 山形市

事業所表彰（2社）

株式会社東部電気 様
山形エンジニアーズ株式会社 様

個人表彰（3名）

會 津 圭一郎 様	東北電化工業株式会社代表取締役社長
小 松 春 樹 様	山形ドライケミカル株式会社代表取締役
坂 下 良 行 様	株式会シグマ代表取締役

特別表彰 役員功労者表彰（3名）

鹿 野 淳 一 様	一般社団法人山形県消防設備協会副会長
山 口 恭 弘 様	一般社団法人山形県消防設備協会理事
船 橋 吾 一 様	一般社団法人山形県消防設備協会理事

特別表彰 ラベル推進功労者表彰（7社）

株式会社東北消防設備 様
山形ニッタン株式会社 様
株式会社三立 様
株式会社セフティ両羽 様
太平ビルサービス株式会社山形支店 様
株式会社大洋防災 様
株式会社シグマ 様

感謝状（8名）

安 孫 子 孝 様（指導員）	安 喰 順 一 様（講師）
阿 部 建 治 様（講師）	飯 澤 孝 様（講師）
落 合 雅 幸 様（講師）	安 達 隆 明 様（講師）
篠 澤 博 様（講師）	鏡 孝 様（講師）

(2) 消防庁長官表彰（消防設備保守関係功労者表彰）

表彰式：令和4年11月4日（金） 東京都（明治記念館）

山口 恭弘 様	一般社団法人山形県消防設備協会理事
---------	-------------------

(3) (一財) 日本消防設備安全センター理事長表彰

表彰式：令和4年11月4日（金） 東京都（明治記念館）

保守関係功労者表彰	高橋 清樹 様	株式会社東北消防設備代表取締役社長
	船橋 吾一 様	弘栄設備工業株式会社代表取締役社長
点検済表示制度推進 優良事業所表彰	株式会社建設工業社山形支店 様	

(4) 山形県知事表彰（安全功労章）

表彰式：令和5年1月11日（水） 山形市（山形県庁）

會津 圭一郎 様	一般社団法人山形県消防設備協会副会長
----------	--------------------

2 消防設備士及び消防設備点検資格者の養成及び資質の向上に関する事業

(1) 自主事業

消防設備技術講習の開催

消防用設備等に関する法令等の改正内容、技術基準等の周知を図りながら、消防設備士・消防設備点検資格者等の資質の向上を図ることを目的として実施

開催日 令和4年7月21日 山形市（山形ビッグウイング）

参加者数 協会会員 20名 消防関係職員等 46名 合計66名

講義内容	講師
消防用設備等の奏功と事件事例から学ぶもの	違反是正支援センター 宇津澤 弥生 様
最近の予防行政の動向について	総務省消防庁予防課 藤野 昌彦 様

(2) 受託事業

①消防設備士法定講習の開催

消防法第17条の10に基づくもので、山形県から委託を受け実施

実施日	講習区分	申請者数	受講者数	会場
9月21日	警報設備	34	34	庄内総合支庁
10月4日	警報設備	127	127	山形ビッグウイング
10月5日	消火設備	99	99	
10月6日	避難・消火器	130	130	
合計		390	390	(前年比15名増)

受講通知業務 該当する消防設備士へ受講時期到来通知及び受講申請書を送付 519通

②消防設備点検資格者講習の開催

消防法施行規則第31条の6第6項に基づくもので、消防設備点検資格者の資格取得のための講習を、(一財)日本消防設備安全センターから委託を受け実施

実施日	講習区分	申請者数	受講者数	会場
8月30日～9月1日	第1種	13	13	山形ビッグウイング
9月6日～9月8日	第2種	9	9	
合計		22	22	(前年比△20名)

③消防設備点検資格者再講習の開催

消防法施行規則第31条の6第6項に基づくもので、消防設備点検資格者に対する再講習を、(一財)日本消防設備安全センターから委託を受け実施

実施日	講習区分	申請者数	受講者数	会場
7月27日	第1種	56	53	山形ビッグウイング
7月28日	第2種	45	44	
合計		101	97	(前年比△13名)

④防火・防災管理講習の開催

消防法施行令第47条に基づくもので、(一財)日本防火・防災協会から委託を受け実施

実施日	受講者数	場所	会場
5月24日～25日	66	山形市	山形ビッグウイング

⑤甲種防火管理講習の開催

消防法施行令第3条第1項に基づくもので、(一財)日本防火・防災協会から委託を受け実施

実施日	受講者数	場所	会場
6月9日～10日	69	鶴岡市	鶴岡市勤労者会館
6月14日～15日	193	山形市	山形ビッグウイング
6月23日～24日	39	新庄市	最上広域交流センターゆめりあ
7月14日～15日	48	長井市	長井市民文化会館
8月3日～4日	182	山形市	山形ビッグウイング
10月13日～14日	94	南陽市	シェルターなんよう
10月20日～21日	81	鶴岡市	鶴岡市勤労者会館
11月29日～30日	187	山形市	山形ビッグウイング
3月7日～8日	175	山形市	山形ビッグウイング
合計	1068		(前年比47名増)

⑥甲種防火管理再講習の開催

消防法施行令第2条に基づくもので、(一財)日本防火・防災協会から委託を受け実施

実施日	受講者数	場所	会場
10月19日	40	鶴岡市	鶴岡市勤労者会館
11月25日	80	山形市	山形ビッグウイング
合計	120		(前年比△8名)

3 消防用設備等点検済表示制度に関する事業

(1) 登録会員数

	設備協会会員	設備協会会員以外	合計	備考
期首	46社	4社	50社	
期中入・退会	—	—	—	
期末	46社	4社	50社	

(2) ラベル交付事業

① 交付会員数推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
山形県内登録会員	45社	47社	47社	46社	49社
山形県外登録会員	5社	8社	6社	8社	9社
合計	50社	55社	53社	54社	58社

② ラベルの交付枚数推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
消火器用ラベル	150,010枚	146,980枚	154,650枚	153,560枚	162,370枚
消火器以外の設備用ラベル	72,360枚	69,040枚	69,095枚	68,350枚	77,850枚
合計	222,370枚	216,020枚	223,745枚	221,910枚	240,220枚

(3) 管理委員会及び管理委員会幹事会の開催

管理委員会の委員として、平成27年度から県内全消防機関に参画いただき、体制強化を図っている。

○消防用設備等点検済表示管理委員会

第41回管理委員会の開催 令和5年3月9日（木） 山形市

消防用設備等点検済表示登録会員に係る資格審査《更新42社、新規1社》

点検報告制度に関する広報啓発強化支援事業の継続について

○消防用設備等点検済表示管理委員会幹事会

第41回管理委員会幹事会の開催 令和5年3月9日（木） 山形市

消防用設備等点検済表示登録会員に係る事前審査《更新42社、新規1社》

(4) 広報事業

①表示制度活用依頼の文書及び登録会員名簿の送付

県関係施設（60件）、県立高校（61件）、市町村関係施設（190件）、農業協同組合・商工会などの各種団体（32件）、福祉関係施設（222件）、旅館・ホテル（103件）、病院（66件）、有床診療所（60件）、県宅地建物取引業協会等（700件）合計1,494件の防火対象物関係者へ、点検済表示制度の活用依頼と表示登録会員名簿及び広報用パンフレットを送付した。

②防火管理講習参加者への制度の概要説明及び広報

表示登録会員名簿及び広報用パンフレットを配布し、点検報告制度及び点検済表示制度の趣旨を説明し、管理している建物への点検済票（ラベル）貼付の協力を求めた。

③新聞紙面での広報

山形新聞社による9月1日「防災の日」にちなんだ防災特集号（8月30日）の紙面に広告を掲載し、安全と信頼のマークである点検済票（ラベル）の活用について広報した。

(5) 点検推進指導員による訪問調査実施状況

①表示登録会員から報告された確認事務に係る防火対象物

報告会員数 44社 対象物報告件数 163件

②防火対象物への訪問実施状況

訪問月日	訪問件数	訪問先（市町村）	主な用途
5月11日、18日	6件	米沢市、白鷹町	7項、1項 [□] 、6項 [□] 、4項
6月8日、15日	6件	米沢市、南陽市、新庄市 尾花沢市	1項 [□] 、6項 [□] ・ ^ハ 、3項、5項 [□] 、 9項 [□]
7月6日、13日	6件	真室川町、新庄市、東根市 最上町	7項、6項 ^イ 、15項、12項 ^イ
8月10日、24日	7件	遊佐町、酒田市、庄内町	1項 [□] 、7項、5項 ^イ ・ [□] 、6項 ^ニ
9月14日、28日	6件	鶴岡市、酒田市	6項 ^ハ 、5項 ^イ 、1項 [□] 、4項
10月12日、26日	6件	上山市、天童市、東根市	16項 ^イ 、6項 [□] 、15項、12項 ^イ
11月10日、24日	6件	河北町、西川町、天童市 村山市、寒河江市	12項 ^イ 、16項 ^イ 、7項、15項
12月15日、22日	6件	山形市、天童市	15項、16項 ^イ 、4項、1項 [□]
1月12日、26日	4件	山形市	16項 ^イ 、15項、12項 ^イ
2月9日、24日	7件	山形市、寒河江市	5項 [□] 、7項、12項 ^イ 、15項、16項 ^イ
合計	60件		

(6) 点検報告に関する広報啓発強化支援事業（消防本部との連携事業）

消防機関と消防設備協会が連携し、消防設備の点検報告率の向上に向け、防火対象物の関係者に対し点検報告制度の普及啓発と消防設備の維持管理の促進、県民の防火意識の向上を図るために実施。消防本部が行う消防用設備等点検報告制度の指導に関し、防火対象物関係者に対する周知等に必要な支援物件を提供した。

令和4年度は、県内12消防本部全てを支援事業の対象として実施した。

(7) 損害賠償責任保険加入に関する事業

① 賠償責任保険（保守業務用）加入手続き事務

・更新加入手続き 41社

消防用設備等の点検作業が原因で生じた偶然な事故により、他人へケガを負わせたり、他人の財物を壊したりした場合に法律上の損害賠償金を支払う保険

② 消防用設備等点検済表示制度賠償責任保険への加入

表示登録会員の審査・点検済票の交付業務の遂行にあたり、第三者に経済的な損害を与えた場合、その結果法律上の損害賠償責任を負担することにより被る損害に対する保険

4 消防用設備等の保守点検業務の推進に関する事業

(1) 消防設備関係一般参考書の斡旋

・「一般参考書等」 2冊

(2) 防火基準点検済証・防火優良認定証等の斡旋

・「防火・防災基準点検済証」 5個 ・「防火基準証文字プレート」 19枚

・「防火・防災優良認定証」 14個

5 情報提供に関する事業

(1) 「山形県消防設備協会会報」の発行

会報第11号（令和5年1月発行）を作成し、協会の動向や諸情報を発信した。

(2) 会員名簿等の作成

協会会員名簿及び表示登録会員名簿を作成し、会員や消防関係機関並びに諸関係団体等に配布した。

(3) ホームページによる情報発信

協会の事業内容・講習会の案内・消防設備等に関する情報を適宜発信した。

6 消防防災意識の啓発に関する事業

(1) 山形県女性防火大会への共催（中止）

防災意識の高揚と災害時等における地域の連携意識の向上を図ることを目的に、山形県女性防火クラブ連絡協議会が主催する、山形県女性防火研修会（隔年開催）の趣旨に賛同し、共催として計画していた。

(2) 春季・秋季火災予防運動への取り組み

山形新聞社主催の春季火災予防運動特集記事へ参画し、火災予防運動への取り組みや点検済表示制度について広報した。

(3) 応急手当に関する「普通救命講習会」（実施見合わせ）

7 連絡調整

(1) 東北・北海道消防設備協会連絡協議会

○定期総会 令和4年6月16日～17日 青森県（会長、局長出席）

○事務局長会議等 令和4年12月13日～14日 岩手県（局長、主事出席）

(2) 各都道府県消防設備協会等会議（日本消防設備安全センター主催）

○事務担当者研修会 令和4年7月7日 東京都（主任出席）

○会長・理事長会議 令和4年11月4日 東京都（会長、主事出席）

○点検推進指導員研修会 令和4年12月8日 東京都（指導員出席）

○事務局長会議 令和5年1月26日～27日 東京都（局長出席）

Ⅲ 会議の開催

- 1 定時会員総会 令和4年6月3日(金) 山形市「山形国際ホテル」(出席者93名)
 - ①令和3年度事業報告及び収支決算
 - ②令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)
 - ③役員改選

- 2 理事会
 - 第1回理事会 令和4年6月3日(金) 山形市「山形国際ホテル」(出席役員11名)
 - ①定時会員総会提出議案について
 - 第2回理事会 令和5年2月22日(水) 山形市「パレスグランデール」(出席役員10名)
 - ①令和4年度事業執行状況及び収支予算執行状況について
 - ②令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
 - ③山形県消防設備協会会長表彰について
 - ④消防設備保守関係者表彰の推薦について

Ⅳ 法人設立10周年(創立45周年)記念事業に関する事項

- 1 記念事業実施の趣旨

法人設立10周年(創立45周年)にあたる令和4年度に、県民生活に密着した本協会の活動への理解を深める広報活動を行うとともに、今後10年の新たなスタートを切るために、協会会員企業と関係者が一堂に会し意思向上を図り、安心・安全な地域づくりに益々貢献できるように、記念事業を実施した。

- 2 記念事業の実施概要
 - (1) 記念行事の実施 令和4年11月11日(金) ホテルメトロポリタン山形
記念講演(62名)、記念式典(69名)、祝賀会(61名)を開催した。
 - (2) 協会シンボルマークを制定し、記念式典で「協会旗」をお披露目した。
デザイン依頼先 株式会社KEN OKUYAMA DESIGN 代表 奥山清行様
 - (3) 記念品として、シンボルマークをモチーフにした山形鋳物(ペーパーウエイト)を製作し、記念式典来場者、関係者並びに会員事業所に配布した。
製作依頼先 菊地保寿堂様
 - (4) 記念式典当日、山形新聞に広告を掲載し、協会組織について広報した。
 - (5) 公益事業として、「やまがた社会貢献基金」(山形県)へ120万円を寄付した。
山形県知事から感謝状を受領 令和5年1月11日(水) 山形県庁(会長、局長出席)
 - (6) 法人設立10周年(創立45周年)記念誌「10年のあゆみ」を発刊